

2021（令和3）年度 第1回中村町内会防災委員会 議事録

開催日時：令和2年7月4日（日） 14：00～15：30

開催場所：中中村集会所

出席者：松永（委員長）、小峰（上）、永井（中）、表谷、安達、（下）（以上委員）、
町内会5役 宮崎（町内会長）、岡田（同副会長）、佐藤（同会計） 國本（同庶務）

山浦（上自治会長）、春山（中自治会長）、鈴木（下自治会長）：敬称略

司会：安達

記録：國本

1. 町内会長、実行委員長挨拶、参加者自己紹介
2. 昨年度の経緯説明（昨年度の町内会定期総会資料から抜粋）
3. 協議内容
 - (1)運営方針（委員会を運営するにあたって）
 - ①各自治会から1名以上の出席。
最低1名以上の参加ができるようにしたい。
 - ②各委員会は最大2時間以内（※今年度も → 1時間30分以内）としたい
 - ③必要に応じて小委員会設置も検討する。
 - ④委員会協議内表の公開化 ← 議事録作成し公開する。
 - (2)検討事項
 - ①今年度の活動計画について
中村町内会自主防災計画を前提に各年度推進する事を確認。
 - ・予防対策としてマニュアルを作成し令和3年度中には発行としたい。
9月中には第一版完成し、12月に第二版、2月に最終版発行としたい。
組織の活動への取り組みとして、班長以上の勉強会・訓練を実施し（11月）、それを踏まえて、町内会の防災訓練を行いたい。（令和4年度実施目標）
 - ・応急対策として町内会員自身での有事の際の対策への取り組みを確認する。
 - ②防災積立金執行計画について
積立金の長期、中期、短期での予算の検討を行う。
活動予算は都の助成金（地域の底力発展事業助成等）等の活用も検討。
各自治会で防災倉庫の設置場所を確保し設置作業を進める。
1月には設置場所の確定と予算計画案をまとめ、2月3月には設置としたい。
予算案など総会に諮り次年度での執行につなげる。
今年度の委員会スケジュール案（五役会日程と同期している）
7月4日、9月12日、10月3日、11月7日、12月12日、1月16日
2月6日、（予備日 3月6日）
 - ③その他
 - ・防災組織として班長の勉強会を行っても毎年班長と五役が入れ替わるので、固定した人員での防災組織が必要ではないか。

- 継続性から前年度の班長が当年度の防災担当となる考え方も必要。
- 地域支援で、災害時の対応として対象者把握の名簿の作成も必要ではないか。
 - 個人情報のあることあるので民生委員との連携が重要。
- 安否確認用の黄色いタオルを各戸配布も効果があるので、予算化したらどうか。
 - 資金確保について行政への申請書の提出はタイミングの確認が重要。
- 中中村では固定した防災係を設置する事を自治会内で検討している。
 - 班長としての講習会を継続していくことにより班員みんなが講習を受けた経験を持てるので、有事の際に集まった町内会員で対策していくようになるのではないだろうか。
 - ← 基本はその考えで、防災係はそのリーダー役となる。
- 防災倉庫設置位置検討の現状

防災倉庫は中村町内会としての防災備品を各自治会に分散して保管する事を目的としている。

 - 上中村地区 現在の集会場の倉庫で対応したい。
 - 中々村地区 現在の倉庫から下中村備品が出るので空きができる。
 - 下中村地区 お寺の駐車場に場所を借りる予定。
 - ← 小山中村広場の町内会倉庫拡張も考えているのでその活用も考える。
- 防災積立金は各自治会それぞれで防災に必要な資材を調達するために使用するものであり、不公平感が出ないような運用が必要。
- 小学生が増えて、町田街道沿いや裏道での危険性が高まっている。
 - ← 沼地区は登校時間は通行禁止だが中村町内会地区は規制がない。
 - ← 一区連合の会議で通行禁止に関する要望を提案する。
- 避難施設連絡会の説明会が開催されるので参加者を検討。
 - 7月21日小山小学校は松永委員長参加。
 - 8月2日小山中学校は宮崎町内会長参加。

(3) 防災マニュアル案の内容確認

- 8ページ程度の内容にまとめたい。次回までの課題として各自確認の事。
- 素人にもわかりやすい内容とする事が重要。
 - 組織図の中で実際の運営を考えた連携を考える事。
 - 集合場所、防災倉庫の位置情報が記載されている防災マップが必要性。
 - ← ハザードマップは土地の評価に関わる情報等の配慮が必要。

4. 次回日程 9月12日(日) 14:00～

以上